

たちばな

2019.10.1



◆ 発行 / 立正大学校友会 ◆

- P.02 ~ホームカミングデー in 橘花祭~ 開催のご案内
- P.03 校友会費B納入者一覧
- P.04 令和元年度校友会主催講演会採録
- P.08 物故者追善法要開催報告・同窓会会長のご挨拶
- P.09 同窓会定期総会開催報告
- P.11 150周年記念事業募金
- P.12 同窓会支部総会開催報告・同窓会支部活動報告・卒業生の活躍情報
- P.13 立正大学同窓会・校友会共催開催報告
- P.14 令和元年度立正大学橋会定期総会報告・令和元年度校友会保護者懇談会開催報告
- P.15 平成30年度郵政会事業報告および決算報告・令和元年度事業計画および予算
- P.16 INFORMATION

令和元年度「校友の集い」

開催日：令和元年11月3日(日) / 10:00~17:00

ホームカミングデー in 橘花祭開催のご案内

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00

1号館 4階 第7会議室	名誉教授記念講演会 講師：銅澤幸雄 名誉教授 「立正大学と私－挫折と幸運－」	12:30~13:30	
1号館 4階 第7会議室	立笑(正)点 寄席	14:20~15:20	   
1号館 1階 第3会議室	キッズルーム(オムツ交換、授乳コーナー完備) 3日・4日の2日間設置 (社会福祉学部同窓会協力)	10:00~18:00(※4日 10:00 ~ 14:00)	
5号館 3階 532教室	大学安置祖師像ご開帳 (仏教学部同窓会主催)	10:00 ~ 15:00	
7号館 2階 学生食堂	立正マルシェ (同窓会地方物産展、中小企業家同友会、 ダイワロイヤルホテル)	10:00 ~ 15:00	
8号館 地下1階 古書資料館	古書資料館見学ツアー	10:00 ~ 17:00	
9号館 地下2階 9B22教室	橘会 就職報告会 (キャリアサポートセンター協力)	10:30 ~ 12:00	
9号館 1階廊下	立正大学の歴史(パネル展示) (史料編纂室協力)	10:00 ~ 17:00	
9号館 2階 921教室	法学部同窓会主催 法学部卒業生異業種交流会 「バンザイ!!君に会えてよかった」	10:30 ~ 12:00	
9号館 2階 922教室	同窓会全国各支部紹介(パネル展示)	10:00 ~ 17:00	
9号館 2階 923教室	教職課程・社会教育ラウンジ ～OB・OG・現役学生交流会～ (教職教育センター・文学部同窓会・地球環境科学部同窓会協力)	13:30 ~ 15:00	
9号館 2階 924教室	文学部英米文学科・ 英文学科文学科英語英米文学コース卒業生および 文学研究科英米文学専攻修了生を囲む会	11:00 ~ 12:00	
学生広場	経営学部 村井ゼミ×フロレスタフ越銀座店 「動物ドーナツ販売」/ パティスリー 「ノンアルコールりんごカクテル試飲会」/ キッチンカー 「ピザ販売」(予定)	10:00 ~ 17:00	 ※イメージです。
	[経営学部同窓会ホームカミングデー共催] ホームカミングデー懇親会<立食パーティー> ホテルニューオータニイン東京 (参加費無料)	16:00 ~ 18:30	

※当日の開催スケジュールに関しましては、変更になる可能性があります。最新情報に関しましては、校友会HP(<http://alumni.rissho.jp/>)をご確認ください。

立正大学校友会記念講演会を開催しました

[令和元年度立正大学同窓会定期総会 in 東京 校友会主催講演会採録]

「一緒に食べたい、行きたい、楽しみたい!～車いすの視点から見える社会～」

講師:石川ミカ氏(立正大学職員)



ご覧いただいている写真は成人式の写真です。怪我をする前だったので振袖を着て立っています。これが私が立っている最後の写真だと思います。



このあと、私は、1995年、通勤途中の駅の階段から転落して首を損傷しました。損傷したため首から下が弱くなりました。

怪我をした後、病院でリハビリをしました。この時はリハビリをすればまだ歩けるのかなと思っていました。しかし、歩けるようにはなりませんでした。

私は事故で車いす生活になるまで車いすを見た事がありませんでした。世の中に障害者という人たちがいる事も知りませんでした。自分が当事者になって初めてそういう人たちが社会にいる

初めまして、石川ミカと申します。このように先輩の皆様の前でお話する事をとても緊張しています。わかりやすく話していけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

障害のある私たちも皆さんと同じようにどこかに行きたくて楽しみたい、美味しいものを食べたい、友達と会ったり、といった事を願っている気持ちは同じです。楽しみたいという気持ちは同じだということに心を留めておいて頂けたらと思います。

石川ミカ(いしかわ みか)氏



【2018年の活動実績】

PTR HILTON HEAD ISLAND Championship (USA)
Singles & Doubles best 4

USTA US OPEN (USA)
Singles best 16

Leibnitz Wheelchair Tennis Open (AUT)
Singles & Doubles Winner

Citta' di Forlì (ITA)
Singles best 4

German Open (BER)
Singles best 4, Doubles runner up

BNP Paribas Open de France (FRA)
Singles best 16, Doubles best 8

Open de Vendee (FRA)
Singles best 4, Doubles winner

【プロフィール】

25歳のときに頸髄を損傷し、車椅子生活に。勉強のためにカナダに留学し、そこで開かれていた障がい者スポーツの体験会で車椅子テニスに出会う。

はじめは2~3ヶ月に1回程度楽しむレクリエーションだったが、動画でトップ選手のプレーに感動し、本格的に取り組み始める。

【本人からのメッセージ】

一番の目標であるキャリアベスト

の更新を目指して練習を頑張ります。またいつも様々な場面で助けていただいていることに感謝し、私も社会貢献できるように努めたいと思います。

【講演内容】

1. 車椅子テニスの紹介
2. 車椅子利用者の日常生活から考える誰もが生き生きと暮らせる社会の実現について



事を知りました。自分がその立場になって初めて、できない事の多さに気づきました。外に出ていけない、困った事がたくさんあって、どうしたらいいかわからず戸惑いがありました。勤めていた会社も通勤できないでしょうと解雇されました。まだ25歳です。



このまま家に閉じこもって一生を過ごす事はできない。福祉を学ぼうと、社会福祉学部のある大学に戻りました。

伴侶との出会い

大学に戻り、そこで大学院生の彼と出逢いました。彼は生まれつきの筋ジストロフィーという病気でした。進行性の病気で筋肉が徐々に弱っていき、車いすに乗った生活をしていて、お互いに色々な影響を受けました。彼は生まれながらの障害、私は途中からの障害です。彼は生まれつきだったので色々な事ができなくて当たり前、私はある日突然できなくなったという違いがありました。

私は彼と色々話しました。私を変えてくれたのがこの彼でした。「物理的にできない事は仕方



生まれつき筋ジストロフィーという病気だった亡くなった夫。

障害者に至った経緯は違うが、二人とも障害者。結婚にあたり心配も反対もありました。

実際にはどうにかなったものです。

がない。でも社会には健康な人たちがたくさんいる。困った時にはその人たちをお願いする勇氣も必要ではないか。もちろん当たり前ではないので、できる事は自分たちでして、社会貢献もして、でもできない事はできないのだから、その部分は助けてもらいながら人生を楽しんでいこう。』とってくれました。

二人は結婚する事になりました。二人共障害者で車いすに乗っている事で周りからは反対されましたが、ヘルパーさんに来てもらい、家事を手伝ってもらえば何とかできると説得して結婚しました。実際に何とかできました。できない事は勇氣を持って周りをお願いする。それも生きていく上で必要な事だと思います。

障害者の存在を知らない人が多い

怪我をする前の私がそうだったように、障害者と接した事がない人、見た事がない人が多いのです。知らない事が当たり前です。それは悪い事ではないと思います。このように障害者である私が話す事で知って頂けるとと思います。こういう場を増やして行って、私たちの存在を知ってもらおう。私達も皆さんと一緒に人生を楽しんで行きたい気持ちは同じだと伝えていけたらと思います。

あるレストランでの出来事

亡くなった夫とドライブ中におしゃれなレストランを見つけました。入ってみたいが、二人の目に入ってきたのが入口の2~3段の階段でした。私は階段があるから無理だと思いました。でも彼は私と違いとても勇氣のある人でした。「10段、20段、2階、3階なら難しいが、2~3段じゃないか。お店の人に抱えてもらえば入れるよ」と、外から

立正大学同窓会



手を振って「すみません」と声をかけました。お店の人が出てきて抱えてくれました。おかげで美味しいご飯を食べる事ができました。設備面のバリアフリーはお金も時間もかかり、

すぐには直せるものではありませんが、人介戦術であったり、人の心であったり、そういうもので乗り切れる事があると思います。

トイレの問題

私たちが外出する時に一番心配するのがトイレです。トイレはとてもデリケートで、どこでもできるわけではなく、我慢できるわけでもありません。でも、大きな声で話せる事でもありません。車いすで使えるトイレがある事はとても大切です。最近は車いすで使えるトイレが新しくできた建物には必ず付けないといけない法律もできているので、安心して外出ができるようになりました。

石垣島への旅

とても寒い冬の日に、彼と「毎日寒いから、どこか暖かいところに旅行がしたい」と話していました。ネットで調べてみると石垣島はとても暖かそうで綺麗な風景でした。そこで石垣島に行こうと二人の意見は固まりました。

石垣島に行くための飛行機のチケットを取りました。でも取ったあとに不安になりました。なぜかという「島」なのです。電車やバスが走っているかどうかもわからない。あったとしてもそ

れに乗れるかどうかもわからない。行ったはいいが、写真にあるような所に行けないかもしれない。そういう不安が出たので、慌ててホテルに電話しました。ホテルの人もびっくりして「二人とも車いすで、介護の人もなく、二人だけで来るのですか？ちょっと難しいと思います」と言われました。「でも、飛行機のチケットも取ったし、石垣島はいいところだと思ったので行きたいのです」と相談してみました。するとホテルの人も「わかりました。こちらでも調べてみます」と、社会福祉協議会に「車いすに乗った障害者の二人が観光に来るけれど、どういうふうにしたらいいか」と相談してくれました。社会福祉協議会とホテルの人が何とか大丈夫だろうという事になったらしく、私たちは石垣島に向かいました。

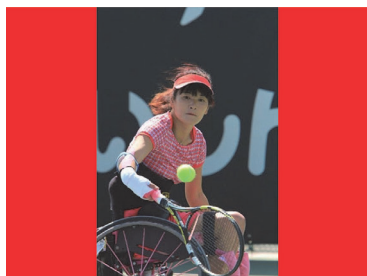
石垣空港は、建物と飛行機がタラップでつながっていませんでした。地上に階段で降りるようになっていて、その階段には車いす用の昇降機が備えてありました。空港に着くと、何と社会福祉協議会の職員とボランティアの方が来てくれて、車でホテルまで送ってくれました。そして、石垣島の観光地図を用意して、観光地に丸印を付け、車いすが使えるトイレがあるかないかも調べてくれていました。そのおかげで私たちは快適に観光する事ができました。

ホテルの方からも、「車いすに乗ったお二人が、二人だけで石垣島に来てくれてよかったです」と言ってくれました。社会福祉協議会、ボランティア、ホテルの方々が連携を取ってくれた事が地元新聞に載りました。

車いすテニス

私は車いすテニスをしています。私は手の力が弱いのでラケットを持った上からテーピングをし

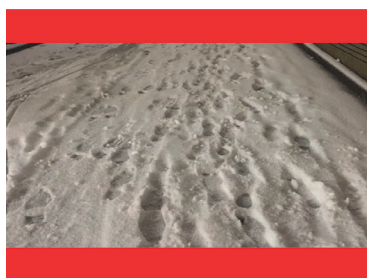
てラケットが落ちないように固定してプレーをしています。



車いすテニス
は普通のテニス
と基本的なルールは同じです。唯一違うのは、
ツーバウンスで打っていいという事です。コート
の広さもネットの高さもボールもラケットも全
て一緒です。

車いすで困った時

雪が降ったあ
る日の事です。
東京では滅多に
雪が降らないの
ですが、年に1~
2回降る事があ
ります。雪も5cm位
積もると1m進む
のに10分位かか
ります。その日
は私は電車を出
かけていました。



駅を出たら雪がたくさん降ってしていました。家
まで数100mあるのにどうしよう。全然進まない。
すると女性が近づいてきて、「こんなに雪が降る
と大変ですね。進みませんね。どこまで行きま
すか?」と尋ねてくれました。「もう少し向こうな
のです」と言うと、その方が車いすを2~300m
先の私のアパートまで押してくださって無事に帰
り着く事ができました。

また、車いすの国内での大会で、テニス用の
車いすを押しながら新幹線を降りて在来線に乗

って最寄駅まで帰った時、雨が降り出しました。車
いすも押しているし、進まないし、滑るし、どう
しようという時に、近づいて来て押し出すと言っ
て頂いた方がいて、アパートまで押してくれました。

そういう事が私たちの生活を支えてくれます。
車いすだけではなく、視覚障害、聴覚障害、高
齢の方などにも、困っているかなと思ったら、「何
か手伝いましょうか」と一声かけて頂けると、私
たちも願う勇氣が出ます。実は自分から「〇
〇をしてください」と願うのはすごく勇氣
がいるのです。最近は大いぐ言えるようになりま
したが、彼と出逢った頃はお願うするなどという
事も、声をかける事すらできませんでした。

皆さんから「大丈夫ですか。何か手伝いましょ
うか」と言って頂けると本当に助かります。

最後に

皆さんと楽しみたいという気持ちは一緒です。
物理的に難しい部分は助けてもらいながら、お
互いに協力し合いながら、共に楽しんで人生を
送っていかたいと思います。今日はありがと
うございました。



立正大学同窓会主催 「立正大学物故者追善法要」開催報告

6月12日(水)に品川キャンパス532教室にて、立正大学同窓会主催による、「立正大学物故者追善法要」を行いました。

導師を赤羽仏教学部同窓会長、副導師を熱田仏教学部同窓会幹事、式衆・知堂を仏教学部同窓会の方々

がつとめられました。

大学関係者はじめ、在学生、卒業生、地域の方々などの参列をいただき、立正大学に関わる全ての霊位に祈りを捧げました。



法要の様子



同窓会役員



大学関係者



須弥壇

立正大学同窓会長就任の挨拶

立正大学同窓会長 齊藤岐代未



このたび同窓会長を拝命いたしました。これから3年間、同窓会運営に尽力してまいりますので、会員の皆様、校友会報『たちばな』をご覧の皆様には、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私たちの同窓会は、今や会員数13万人を超え、大きく発展をしてまいりました。そもそも同窓会は、昭和35年に創立され60周年を迎えました。また、校友会は、平成21年に創立されて10周年を迎えています。さらに、立正大学は、令和2年に創立150周年を迎えます。今年から来年にかけては画期的な時期にあたりますので、これを機にそれぞれ魅力ある組織の実現に向けて、さまざまな事業を進めています。その一例として大学は、「立正X駅伝禪は未来につながっている(150周年記念事業)」で大学駅伝への挑戦をスタートしています。

一方、大学は厳しい環境におかれています。立正大学が数あ

る大学との競争に打ち勝って生き残っていくには、社会から選ばれる大学・社会を変革する大学にしていける必要があります。そのために大学は、質の高い教育カリキュラムを提供し、人間力の高い有為な人材を社会に供給し続けるよう、自ら改革する必要があります。

同窓会は、大学の置かれた状況を受けて、待ったなしの改革に取り組みざるを得ない状況に直面しております。時代に先駆けあるいは時代の変化にしっかり対応して社会を支え、改善していくことができる人材を揃えて、同窓会活動をより一層活性化させなければなりません。具体的には、学生に関心の高い就職について、野坂前会長の話された『入口・出口作戦』により、就職希望者への支援を進めます。さらに、あらゆる分野で女性が活躍できる場の構築への取り組み、同窓会員相互の情報共有を円滑化し、同窓会活動に参加しやすい仕組みの構築を進めます。

私は、「真実・正義・和平・変わる立正-未来への礎」を胸に、立正大学を卒業したことに誇りをもって、同窓会活動に尽力したいと考えております。

最後に、良き伝統を次世代に引き継ぐ基盤を築かれてきた諸先輩に感謝申し上げます。

令和元年度

立正大学同窓会定期総会開催報告

6月22日(土) ホテル雅叙園東京にて、令和元年度立正大学同窓会定期総会を開催いたしました。学園から望月理事長、古河理事、青戸理事、大学から、吉川学長、大竹副学長、はじめ多くの来賓の方々にご臨席賜りました。

総会に先立ち、立正大学校友会主催記念講演会を開催し、講師に石川ミカ氏(立正大学職員)をお迎えし、「車椅子の視点から見える社会」と題し話を頂きま

した。

その後議事に入り、立正大学同窓会会長承認が行われ候補者 齊藤岐代末氏の会長承認がなされました。報告事項では、平成30年度の事業・決算報告・監査報告等について報告がなされました。

懇親会では各都道府県支部から提供された、支部紹介パネルの展示、大道芸人つねむね氏の紙切りなど盛会の内に終了致しました。



司会をつとめた西岡副会長



ホテル雅叙園東京
望月理事長の挨拶



ホテル雅叙園東京
吉川学長の挨拶



ホテル雅叙園東京
野坂同窓会会長の挨拶



来賓



受付



同窓会各支部代表者



石川ミカ氏による校友会主催記念講演会



議長 副議長



書記



10年支部表彰 栃木県支部



議事の様子



前理事 集合写真



物故者追善(玄題三唱)



集合写真



来賓



パネル展示



野坂前会長の挨拶



齋藤新会長の挨拶



懇親の様子

150周年記念事業募金

群馬県支部、東京都支部、愛知県支部よりご寄付を頂きました。

ありがとうございました。

皆さまには本記念事業のご趣旨をご賢察、ご理解いただき、募金勧募にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨今の厳しい経済情勢のなか、かようなお願いは誠に心苦しい次第ではございますが、本学の建学の精神発揚、輝かしい未来発展へ繋げてゆくために、絶大なご支援を賜れますようお願い申し上げます。

【募金要項】

総事業費：150億円

募金名称：学校法人立正大学学園開校150周年記念事業募金

募金目的：150周年記念事業の実施に要する資金調達の為

募金目標額：15億円

【個人の方】

学生の方：1口3千円、一般の方：1口1万円
金額の多寡にかかわらず1口未満でも有り難くお受けいたします。

複数口でのご協力をいただければ幸いです。

【法人・団体の方】

1口の金額は定めておりません。

募集期間：2018年1月～2023年10月末日

【詳しくはHPにて】

<http://www.ris.ac.jp/150th/index.html>



つねむね氏による大道芸



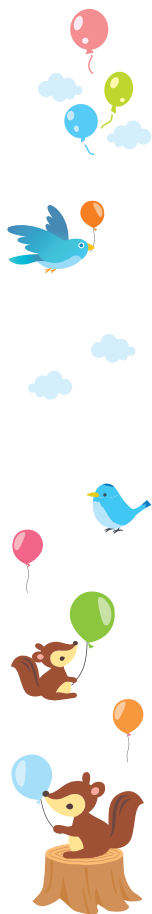
料理



校歌斉唱



閉会のことば



同窓会支部総会開催報告

【東京都支部】

- ◆ 5月25日(土)
- ◆ 荒川区: ホテルラングウッド
- ◆ 講演会: 「税制改正による相続税についてか」 初見達郎氏



【静岡県支部】

- ◆ 6月15日(土)
- ◆ 静岡市: 茄子の花 無庵
- ◆ 講演会: 上瀬由美子氏(立正大学心理学部教授)



【山梨県支部】

- ◆ 6月22日(土)
- ◆ 甲府市: 山梨県立図書館
- ◆ 講演会: 「世界遺産 富士山 山梨と静岡の昔からの文化交流について」 坂詰秀一氏(立正大学名誉教授)



【沖縄県支部】

- ◆ 8月16日(金)
- ◆ 那覇市: ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城



同窓会支部活動報告

【サッカー部試合応援報告】

- ◆ 8月4日(木)
- ◆ 熊谷キャンパス

8月4日に関東大学サッカーリーグ戦の立正大学対明治大学戦が行われ、埼玉県支部・群馬県支部・東京多摩支部・千葉県支部の有志で応援にいきました。試合は3対1となりましたが、サッカー部の頑張りをみることができ、素晴らしい試合でした。

試合終了後には、参加者にて熊谷キャンパス内にあるユニデンスにて懇親会を行いました。楽しいひとときとなりました。



卒業生の活躍情報



◆ 高橋和也さん(昭和62年 経済学部卒業)

4月1日発行 立正大学校友会報「たちばな」No.41のP.9下段「卒業生の活躍情報」で掲載致しました「交流の場～(仮称)

立正大学FP会」ですが、正式名称を「立正OB(G)FP会」にて、活動を開始致しました。既に大学ホームページにて掲載致しましたが、改めてご案内致します。 今後は、卒業生・在校生・教職員・地域の方等々に向けて、金融に関する知識を広めて理解を深めるべく活動を、と考えおります。

詳細は【講演会・勉強会等々】を企画・運営予定です。ご賛同・ご興味のある方は是非活動にご参加下さい。

【問い合わせ先】 【address】 k-takahashi3386@docomo.ne.jp
【携帯No.】 090-7224-9044

立正大学同窓会・立正大学校友会共催

保護者懇談会&中部ブロック 地域校友の集いを開催いたしました。

6月30日(日)長岡市にあります、ニューオータニ長岡にて、立正大学校友会保護者懇談会新潟会場および立正大学同窓会中部ブロック地域校友の集い合同懇親会を開催いたしました。

保護者懇談会では吉川学長メッセージ、大竹副学長のご挨拶、品川キャリアサポート課長による就職に関するお話があり、その後大学同窓会とご参加の保護者の方による合同懇親会を行いました。

合同懇親会では、新潟県支部長、新潟県在住卒業生、同窓会役員、新潟県各地からご参加の保護者の方、大学からの出張者と円卓を囲んでの懇親会となりました。卒業生の方と保護者の方のお話は、出身地の話からはじまり、就職に関する話まで多岐にわたり、和気藹々と懇親を深め、その後成績表に基づいての個人面談がおこなわれました。

当日は大雨の影響により、交通機関の運休などがありました。参加予定の方の欠席もなく有意義な会となりました。



保護者懇談会&九州・沖縄・山口ブロック 地域校友の集いを開催いたしました。

7月13日(土)北九州市にあります、リーガロイヤルホテル小倉にて、立正大学校友会保護者懇談会小倉会場および立正大学同窓会九州・沖縄・山口ブロック地域校友の集い合同懇親会を開催いたしました。

保護者懇談会では吉川学長メッセージ、大竹副学長のご挨拶、キャリアサポートセンター部長による就職に関するお話があり、その後大学同窓会とご参加の保護者の方による合同懇親会を行いました。

合同懇親会では、福岡県支部長、宮崎県支部長、福岡県・岡山県在住卒業生、同窓会役員、九州各県からご参加の保護者の方、大学からの出張者と円卓を囲んでの懇親会となりました。卒業生の方と保護者の方のお話は、出身地の話からはじまり、就職に関する話まで多岐にわたり、和気藹々と懇親を深め、その後成績表に基づいての個人面談がおこなわれました。当日は大雨でしたが、欠席者もなく予定時間を延長しての会となり、有意義な時間となりました。



保護者懇談会&四国ブロック 地域校友の集いを開催いたしました。

7月21日(日)徳島市にあります、JRホテルクレメント徳島にて、立正大学校友会保護者懇談会徳島会場および立正大学同窓会四国ブロック地域校友の集い合同懇親会を開催いたしました。

保護者懇談会では吉川学長メッセージ、大竹副学長のご挨拶、品川キャリアサポート課長による就職に関するお話があり、その後大学同窓会とご参加の保護者の方による合同懇親会を行いました。

合同懇親会では、愛媛県支部長、香川県支部長、徳島県・愛媛県在住卒業生、同窓会役員、四国各県からご参加の保護者の方、大学からの出張者と円卓を囲んでの懇親会となりました。卒業生の方と保護者の方のお話は、出身地の話からはじまり、就職に関する話まで多岐にわたり、和気藹々と懇親を深め、その後成績表にもとづいての個人面談がおこなわれました。大雨の影響が心配されましたが無事開催する事ができました。



保護者懇談会&北東北ブロック 地域校友の集いを開催いたしました。

8月24日(土)盛岡市にあります、ホテルメトロポリタン盛岡にて、立正大学校友会保護者懇談会盛岡会場および立正大学同窓会北東北ブロック地域校友の集い合同懇親会を開催いたしました。

保護者懇談会では吉川学長メッセージ、大竹副学長のご挨拶、キャリアサポートセンター部長による就職に関するお話があり、その後大学同窓会とご参加の保護者の方による合同懇親会を行いました。

合同懇親会に先立ち、各県代表者から同窓会活動紹介が行われました。

岩手県事務局長はじめ、青森県・秋田県同窓会役員の他、岩手県在住卒業生、同窓会役員、岩手県・青森県各地からご参加の保護者の方、大学からの出張者と円卓を囲んでの懇親会となりました。卒業生の方と保護者の方のお話は、就職に関するお話がメインとなり、皆様熱心にお話をされ懇親を深めていました。その後成績表にもとづいての個人面談がおこなわれました。



令和元年度

立正大学橘会定期総会開催報告

令和元年度立正大学定期総会は去る6月9日(日)午前11時より品川キャンパス石橋湛山記念講堂にて開催されました。全国より360名の保護者の皆様のご出席を頂きました。

菊池稔副会長司会進行のもと開式され、先ず田中貞真会長より挨拶、橘会の主な活動内容を説明されました。来賓の御挨拶では望月兼雄理事長より、立正大学は開校150周年に向けてより一層の発展に尽くしたいとのご挨拶を頂きました。

本年新たに就任された吉川洋学長からは、立正大学の将来の発展に向けた思いをお話頂きました。

その後、橘会奨励賞の授与式を行い、法学部社会学

教育学ゼミナールに優秀賞が、文学部社会学科の青木伸晃さんに選考委員特別賞が授与されました。

その後、定期総会議事は慣例により田中会長が議長となり議事進行され、平成30年度事業報告並びに決算報告、監査報告、そして令和元年度事業計画案並びに予算案が承認されました。

役員改選の件では、副会長であった菊池稔氏が会長に、会計監査であった山岡利匡氏が副会長に推薦され承認、続いて常任理事、理事、会計監査、評議員が承認され閉会となりました。その後、校友会主催保護者懇談会が行われ、多くの保護者の皆様が引き続き参加されました。

令和元年度

校友会保護者懇談会開催報告

今年も、各地で保護者懇談会が始まりました。社会情勢の変化が激しい中、学生のおかれている環境は厳しいものとなっています。その中で、大学の先生方より直接学修や就職についてお話が伺え、保護者同士の情報交換ができるのが、この保護者懇談会です。ご参加された保護者の皆様からのお声を今回号と次号(1月1日号)にてご紹介いたします。

新潟会場



- 日にち:令和元年6月30日(日)
 - 会場:ニューオータニ長岡(新潟県長岡市)
 - 参加数:27人
- 保護者懇談会に参加して 内田大介・弘美(新潟県)

今年度より「校友会」主催の保護者懇談会となって最初の地方開催でした。息子は4年生、就活真っ只中ですので今年は夫婦で出席させて頂きました。

さて、懇談会は教職員の紹介から始まり、大竹副学長のご挨拶、吉川学長によるビデオメッセージ、品川キャリアサポート小宮課長による「父母のための就職講座」、最後に個人面談が行われました。そして当日は新潟県支部同窓会役員の方々と昼食懇談会があり内容の濃いものとなりました。また、齊藤同窓会会長もお越しになられ各テーブルにご挨拶頂きました。

学長・副学長・同窓会会長のお話からは、子供達の夢を叶えるために大学・同窓会等一丸となり支援、サポートする体制を感じ大変心強く、良い大学なのだと思いました。2022年150周年にあたり品川・熊谷両キャンパス整備や新学部設置の説明があり、これもひとえに社会で活躍されている同窓生の方々あってこそと有難い気持ちです。ぜひ息子達も受け継いでいって欲しいものです。また、さっそく新しい立正大学オリジナルグッズの紙バッグに当日の資料が詰まっており新鮮でした。

「父母のための就職講座」ではキャリアサポートセンターの取り組み、進路状況、就活スケジュール、インターンシップについて説明がありました。

個人面談では履修単位のこと、卒業の見通し、就活の様子を知り、安心することが出来ました。

この4年間参加させて頂いて、ご準備頂きました職員・役員の皆様に感謝申し上げ、立正大学・校友会・橘会の益々の発展を祈念致します。ありがとうございました。

平成30年度 立正大学郵政会事業報告書

(期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

事業	内容
総会および会議	6月26日 定期総会 5月19日～20日 全国郵便局長総会 4月、6月、9月、10月、11月 役員会議 6月26日 地方支部代表者会議 11月3日 創立60周年記念式典 11月3日 東北支部総会 その他 各地方支部総会
活性化および交流促進	・会員相互の研鑽、交流、親睦、活動の支援 ・各支部相互連携強化、各支部総会の開催 ・講演、研修会の開催 ・郵政グループ各社との情報交換 ・在校生支援講義開設
大学への支援、協力	・大学祭への参加、協力、助成 ・ホームカミングデー協力、助成
校友会参加、協力	・校友課、郵政会記念事業 打ち合わせ ・役員会、校友課打ち合わせ ・校友会10周年、郵政会60周年合同実施打ち合わせ
広報活動	・学園新聞、校友会報、同窓会報への記事提供 ・郵政関係誌への記事掲載依頼、協力 ・60周年記念誌発行、フレーム切手発行

令和元年度 立正大学郵政会事業計画書

(期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業	内容
総会および会議	7月6日 定期総会 5月 全国郵便局長総会 4月、6月、9月、10月、11月 役員会議 7月6日 地方支部代表者会議 その他 各地方支部総会
活性化および交流促進	・地方支部にける活発な会議の運営と活性化 ・会員相互の研鑽、交流、親睦、活動の支援 ・各支部相互連携強化、各支部総会の開催 ・講演、研修会の開催 ・郵政グループ各社との情報交換 ・在校生支援講義開設
大学への支援、協力	・大学祭への参加、協力、助成 ・ホームカミングデー協力、助成
広報活動	・学園新聞、校友会報、同窓会報への記事提供 ・郵政関係誌への記事掲載依頼、協力

平成30年度立正大学郵政会収支決算書

(期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

科目	平成30年度当初予算	決算額	増減
構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
会費	800,000	408,000	392,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	10,000	▲ 10,000
繰越金	197	197	0
預金利息	10	1	9
収入合計	1,800,207	1,418,198	382,009

支出の部

科目	平成30年度当初予算	決算額	増減
旅費交通費	700,000	433,780	266,220
会議会合費	300,000	43,014	256,986
通信運搬費	90,000	36,508	53,492
印刷製本費	50,000	0	50,000
事業費	50,000	43,620	6,380
	410,000	319,000	91,000
	50,000	20,736	29,264
事業費小計	510,000	383,356	126,644
消耗品費	90,000	59,017	30,983
雑費	50,000	9,504	40,496
予備費	10,000	39740	▲ 29,740
次年度繰越金	207	413279	▲ 413,072
支出合計	1,800,207	1,418,198	382,009

令和元年度立正大学郵政会収支決算書

(期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部

科目	令和元年度当初予算	平成30年度当初予算	増減
構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
会費	700,000	800,000	▲ 100,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
繰越金	413,279	197	413,082
預金利息	5	10	▲ 5
収入合計	2,113,284	1,800,207	313,077

支出の部

科目	令和元年度当初予算	平成30年度当初予算	増減
旅費交通費	700,000	700,000	0
会議会合費	300,000	300,000	0
通信運搬費	90,000	90,000	0
印刷製本費	50,000	50,000	0
事業費	100,000	50,000	50,000
	600,000	410,000	190,000
	50,000	50,000	0
事業費小計	750,000	510,000	240,000
消耗品費	100,000	90,000	10,000
学生支援	100,000	50,000	50,000
雑費	284	10,000	▲ 9,716
予備費	23,000	207	22,793
支出合計	2,113,284	1,800,207	313,077

INFORMATION

2019年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,119件・6,367,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力を深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費や会報等発送に関する校友会運営費に充当させて頂きます。

2019年度の校友会費Bについて、下記表をご参照いただき、本年度につきましても皆様からのご協力を宜しくどうぞお願い申し上げます。

■ 2019年度校友会費Bについて

会費	年会費
納入期間	2019年4月1日～2020年3月31日
納入回数	年会費のため、上記期間内に1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込頂きました方のお名前につきまして、下記青枠内において会報への氏名掲載を「許可する」または「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ですがどちらか一方に○をお付けの上、お振込くださいますようお願い申し上げます。

払込取扱票		振替払込請求書受領証	
02 東京	001000H0	001000H0	001000H0
立正大学校友会	417250	立正大学校友会	417250
校友会費B	3000	校友会費B	3000

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスをおこなっております。

詳細につきましては校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068
Email : alu@ris.ac.jp

■ 専用紙は立正大学校友会ホームページ
(<http://alumni.rissho.jp/alumni/campus/alteration.html>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆ 卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

教職員訃報【令和元年6月11日～令和元年9月10日】

非常勤講師 齊藤 司氏 (令和元年6月23日 逝去)
元文学部教授 石垣 壽郎氏 (令和元年8月9日 逝去)
元大学事務局 総務部総務課 神谷 榮氏 (令和元年9月7日 逝去)
謹んで哀悼の意を表します



発行者 | 立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発行人 | 吉川 洋
編集 | 立正大学学長室校友課
電話 | 03-3493-6673
URL | <http://alumni.rissho.jp/>